

2018年9月20日

第17号

CROSS VIEW

軽油

【今号のトピック】

北海道地震の影響
韓国出し品質間価格差縮小
日韓卸価格推移

【日本の動向】

高品位尿素水の動向
～アドブルー市況～
10～12月交通局開札
など

【次回予告】

艦船軽油入札
原油(JCC)相場見通し

お問い合わせ
リム情報開発株式会社
CROSS VIEW チーム
03-3552-2411
info@rim-intelligence.co.jp

—目次—

(ページ番号)

1 軽油最新動向

～日本～

①北海道の地震、西日本の台風、秋の定修シーズンが重なる	1
②北海道の軽油事情	4
コラム「北海道地震直後の知床観光・水産事情」	6

～海外・韓国～

①0.001%S品と0.05%S品の価格差が縮小	8
--------------------------	---

2 アジア各国の輸出入量、製油所稼働率

①アジア各国の製油所稼働率	10
②日本の国別・地域別軽油輸出力 18年7月	11
③韓国の国別・地域別軽油輸出力 18年7月	12
④日本の国別・地域別軽油輸入量、輸入単価 18年7月	13

3 日本の動向

①全国トッパー実稼働率(2017年1月以降)	14
②製油所稼働の見通し(2018年9～11月)	15
③公営バス 10～12月納め関西地区交通局入札結果	17
④リム価格と主要交通局落札価格の比較	19
⑤二番札動向 ～東京と名古屋市は6円以上の格差～	22
⑥全国軽油在庫の推移	24
⑦元売り別軽油系列向けSS仕切り一覧(直近3カ月)	26
⑧価格調査(資源エネルギー庁)	27
⑨国土交通省 トラック景況感(2018年6月)	28
⑩大中型貨物車メーカー別販売台数	29
⑪高品位尿素水～アドブルー市況～	30

4 日本および韓国の卸価格推移

① シンガポール軽油 vs 日韓卸価格	34
② シンガポール軽油 vs 日韓卸価格スプレッド	34

5 原油CIF価格-JCC-予想

35

6 業界あれこれ

39

1 軽油最新動向

～日本～

①北海道の地震、西日本の台風、秋の定修シーズンが重なる

9月6日午前3時7分に北海道胆振地方中東部を震源とする最大震度7の地震が発生し、道内火力発電所の稼働停止による大規模停電で出光興産の北海道製油所もトッパを含めて各装置の稼働が止まった。…

[続きはこちら](#) >

②北海道の軽油事情

石油連盟がまとめている都道府県販売実績を見ると、北海道(下記表参照)は9月から軽油の使用量がガソリンより多くなる傾向がある。昨年は8月のガソリン販売量が20万9,172klに対し、軽油は17万7,064kl、9月は…

[続きはこちら](#) >

コラム「北海道地震直後の知床観光・水産事情」

9月6日早朝に発生した北海道胆振東部地震。北海道電力の発電所が損傷し、道内全域が停電に陥ったことから電力、石油の供給も滞った。被害は震源地周辺、人口の多い地域に限らず、北海道北東部に位置し、ほとんど…

[続きはこちら](#) >

～海外・韓国～

①0.001%S品と0.05%S品の価格差が縮小

韓国石油各社が輸出する硫黄分0.001%軽油と同0.05%軽油の価格差が縮小している。市場関係者によると、今年前半はベトナム向け、...

[続きはこちら](#) >

2 アジア各国の輸出入量、製油所稼働率

①アジア各国の製油所稼働率

韓国の平均製油所稼働率が低下した。現代オイルバンクが、デサン製油所を定修のため稼働を停止させた。期間は9月中旬までの予定。同社は今回の...

[続きはこちら](#) >

3 日本の動向

①全国トッパー実稼働率(2017年1月以降)

石油連盟がまとめた9月15日時点のトッパー実稼働率は、全国ベースで92.7%で推移し、前週の89%を3.7ポイント上回った。実稼働率とは、設計能力...

[続きはこちら](#) >

②製油所稼働の見通し(2018年9～11月)

9月20日現在、稼働が停止中のトッパは定修中のJXTGエネルギー根岸製油所第4トッパと地震による装置不調の出光興産北海道製油所(日量15万バレル)。10～11月の定修計画を見ると、東日本はコスモ石油四日市製油所…

[続きはこちら](#) >

③公営バス 10～12月納め関西地区交通局入札結果

今月10～13日にかけて開札された大阪、京都、伊丹の10～11月ないしは10～12月納め公営バス入札は、届け105円前後で落札された。7～9月納入分の入札が不調となり、単月開札に切り替えた神戸市が8月22日に開札した9月…

[続きはこちら](#) >

⑤二番札動向 ～東京と名古屋市は6円以上の格差～

11～20日に開札された都市部公営バス10～12月納め入札結果を見ると、仙台市、東京都、川崎市、名古屋市は落札価格と二番札で平均2.27円の価格差が付いた。昨年から陸運業界では働き方改革によるローリー配送業務の見直し…

[続きはこちら](#) >

⑥全国軽油在庫の推移

石連がまとめた軽油の全国在庫を見ると、15日時点で前年比11.8%増の157万6,234klに達した。猛暑日が続いた8月から一転、全国的に秋めいた日が続いており、市場関係者からは堅調だった飲料品や食料品の流通…

[続きはこちら >](#)

⑨国土交通省 トラック景況感(2018年6月)

国土交通省が発表したトラック輸送情報によると、6月の輸送量は調査対象となった全国一般貨物トラック事業者(1,014社のうち回答事業者803社)ベースで前年比1.7%増となった。…

[続きはこちら >](#)

⑩大中型貨物車メーカー別販売台数

日本自動車販売協会連合会がまとめた8月の大型トラック販売実績によると、日野、いすゞ、三菱ふそう、UDトラックスの大手4社で7,316台となった。内訳は日野が2,823台、いすゞが2,504台、三菱ふそうが1,167台、…

[続きはこちら >](#)

⑪ 高品位尿素水～アドブルー市況～

尿素SCRシステムに使用される高品位尿素水「AdBlue」(アドブルー)が岐路に立たされている。

アドブルーが世界に登場したのは今から十数年前。…

[続きはこちら](#) >

4 日本および韓国の卸価格推移

① シンガポール軽油 vs 日韓卸価格

2015年10月以降の動向

日本、韓国ともに国内の軽油卸価格は概ねシンガポール軽油価格に連動している。このところの原油上昇基…

[続きはこちら](#) >

原油CIF価格-JCC-予想解説

9月に日本へ輸入、通関される原油の9月19日時点の見通しは75.62ドル/バレルと9月7日と同水準、円建ては52,860円/klと同比で100円高となった。10月物は、78.67ドルと同比で…

[続きはこちら](#) >

6 業界あれこれ

川崎市交通局10～12月入札、札入れ価格に珍事か？

川崎市交通局が19日に開札した10～12月納入分の市バス向け軽油計1,572klは、A～DブロックのうちA～Cブロック日本石油販売が落札した。内訳はAブロック266kl、Bブロック378klが届け104.4円、…

[続きはこちら](#) >